



2022年5月25日

各 位

会 社 名 岡藤日産証券ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 二 家 英 彰
(コード番号：8705 東証スタンダード)
問 合 せ 先
役職・氏名 常 務 取 締 役 近 藤 竜 夫
経 営 企 画 室 長
電 話 0 3 - 6 7 5 9 - 8 7 0 5

資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、2022年5月25日開催の取締役会において、2022年6月29日開催予定の第17回定時株主総会に、資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について付議することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、2022年3月期において繰越利益剰余金の欠損を計上しております。つきましては、この欠損金を填補し、財務体質の改善を図るとともに、今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えることを目的とし、資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うものであります。

2. 資本金及び利益準備金の額の減少に関する事項

会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する資本金の額及び減少の方法

当社の資本金の額3,586,766,268円のうち2,086,766,268円減少し、1,500,000,000円といたします。

会社法第447条第1項の規定に基づき、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

(2) 減少する利益準備金の額及び減少の方法

利益準備金の額7,337,330円を全額減少し、0円といたします。

会社法第448条第1項の規定に基づき、減少する利益準備金の全額を繰越利益剰余金に振り替えることといたします。

3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金の額の減少に伴い増加するその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当いたします。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 654,068,054円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 654,068,054円

4. 日程

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2022年5月25日 |
| (2) 株主総会決議日 | 2022年6月29日 (予定) |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2022年8月5日 (予定) |
| (4) 効力発生日 | 2022年8月8日 (予定) |

5. 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産の額及び発行済株式総数に変動はなく、業績に与える影響はありません。

なお、上記内容につきましては、2022年6月29日開催の第17回定時株主総会において承認可決されることを条件としております。

以 上